

令和 8 年度 事業計画

令和 8 年度次の事業を行う。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50 名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	50 名
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム	50 名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	110 名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40 名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12 名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45 名
5 事業所 本部(事務局)除く	18	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

1. 人材育成・確保
2. 事業展開・サービス提供・地域貢献
3. 経営・施設管理

基本方針

法人設立 50 周年を迎える令和 8 年度は、人材育成の重点目標として、職員の専門性を高める研鑽と次世代を担うリーダー及び中堅職員の育成を重点課題とし、研修と OJT の充実を図ると共に、職員間の交流を推進しながら職員が働きやすく定着する職場づくりを進める。また、人材確保に向け幅広い募集と法人の PR を行い、昨今の情勢等の変革に対応し、業務改善を図り、魅力ある事業所・法人づくりを進め、専門職の確保に向けて取組みを継続する。

事業展開及びサービス提供については、事業所間及び職種間の連携強化を行い、これまで進めてきた事業の特色、魅力の発信力を高め、利用者から選ばれる高品質なサービス提供を行うと共に、リスクマネジメントの強化を図るため、事故防止に対する取組みを多角的に行い、安心安全なサービスを提供する。

安定経営に向けては、予算収入目標の達成を基本とし、将来を見据えた事業展開に向け、経営基盤の確立と、職員の経営意識改革、法人の組織力向上を目指す。

令和8年度重点計画(方針)項目

1. 人材育成・確保

(1) 人材育成・定着の仕組みづくり

①スキルアップの取組み

ア リーダー的人材(中堅職員)のレベルアップの実施

イ 資格取得に向けた仕組みづくりの構築

②職員間交流の推進

ア 職種間・同年代職員交流の実施

イ 福利厚生事業の充実

(2) 人材育成の取組み

①研修計画の再構築

ア 研修内容の見直し・課題整理

②目標管理制度の見直し

ア 目標管理制度の見直し・課題整理

(3) 雇用形態の検討

①幅広い雇用形態の課題整理

ア 正規職員無資格者雇用の課題整理

イ 雇用(就労)時間の課題整理

②障がい者雇用の推進

ア 就労の為の環境整備

2. 事業展開・サービス提供・地域貢献

(1) 事業展開の検討

①各事業所の特色、魅力づくりの評価・見直し

ア 各事業所の特色、サービスの評価・見直し

②宣伝・広報活動の強化推進

ア 宣伝・広報活動の目的、手段、内容の検討

イ 事業のPR強化推進

③将来を見据えた事業展開の課題整理と検討

ア 事業の現状の課題整理

イ 将来を見据えた事業展開の検討、情報収集

(2) 高品質なサービス提供

①サービス内容の評価・改善

ア サービス内容の見直し、改善策の検討

イ 満足度調査の実施・評価

ウ ICTを含めた更なる業務改善の取組み

②リスクマネジメントの強化

- ア 事故の未然防止、再発防止の強化
- イ 事故防止対策委員会の機能強化
- ウ 事業継続計画の見直し

(3) 地域貢献活動の実施

①地域ニーズの把握(情報収集)

- ア 地域ニーズの把握・情報収集

②地域ニーズに応じた貢献活動の実施と発信

- ア 地域貢献活動の実施、評価、改善
- イ 各施設事業のPR強化と周知徹底

3. 経営・施設管理

(1) 修繕・整備に伴う試算

①大規模修繕及び施設整備計画に伴う試算

- ア 大規模修繕及び施設整備計画に伴う試算

(2) 経費抑制

①経費抑制の取組み

- ア ICTの活用
- イ 購入業者の検討・実施

(3) 加算取得・補助金等活用

①情報収集・活用

- ア 介護報酬等の加算取得に向けた取組み
- ②修繕・整備計画に基づく補助金申請
- ア 補助金の情報収集及び確保

(4) 安定経営

①経営視点を持った職員の育成

- ア 経営意識向上の取組み

1. 本部（事務局）

人材育成 確保	人材育成において、引き続き中堅職員のスキルアップを図ると共にリーダー職員においては様々な状況に対応できるよう「考える」「提言する」「行動する」を目標に掲げ職員の育成を進める。 職員の定着・確保に向けて、幅広い募集と福利厚生の実施、またハラスメント対策の強化を図り、職員が安心して働ける職場環境づくりを推進する。
事業展開 サービス提供 地域貢献	事業所の特色・魅力を明確化し継続的に発信すると共に、専門職として更に質の向上を図り、専門性を活かしたサービス提供と情報発信を行う。併せて感染症予防対策の継続及び事故防止対策委員会の機能を強化し安心安全な事業展開、更に施設機能を活用した地域貢献を継続し信頼される法人・事業所づくりを進める。
経営 施設管理	安定経営に向けて、積立金計画に基づく予算収入の確保を事業所と一体となって進める。また物価高騰による経費増加への対応として、業者選定等の工夫による経費抑制を行うと共に、経営に関する勉強会を実施し、職員の経営意識の向上を図り、持続的な運営ができる基盤を整備する。
その他	11月22日(日)事業団設立50周年記念式典の開催に向け、計画的に準備を進めていく。

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議 第三者委員報告会	10	施設長会議 中間ヒアリング 理事会
5	施設長会議 監査会	11	施設長会議
6	施設長会議 理事会 定時評議員会	12	施設長会議
7	施設長会議 全事協中・四国ブロック会議(下関市)	1	施設長会議 内部経理監査
8	施設長会議	2	施設長会議
9	施設長会議	3	施設長会議 理事会 評議員会
50周年記念準備会議(随時)			

研修計画

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	新人職員研修 中堅職員研修	9	交通安全研修
5	リーダー職員研修		メンタルヘルス研修
6	人権同和問題研修	10	リフレッシュ研修
7	メンタルヘルス研修(管理者向け)	3	50周年記念実践研究発表会

法人役員等研修

経営セミナー	監事研修	指導監査、役員研修	苦情解決研修
--------	------	-----------	--------

事業所外研修

全事協中国、四国ブロック研修(高松市)	リスクマネジメント研修
Web 研修(リモートによる老施協等の専門研修)	サービスマナー研修
その他専門知識等研修	権利擁護、個人情報保護等研修

法人内部研修

法人内部講師研修	専門職種別研修
----------	---------

事業所内研修

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

その他

法人設立 50 周年記念式典 11/22	50 周年記念法人合同文化祭
50 周年記念事業所交流石見銀山かるた大会	福利厚生事業

サービス利用目標

施設サービス

事業所名	ケアハウスビラおおだ	福寿園
月平均入所者数	50 名	50 名

保育サービス

月平均園児数	111 名
--------	-------

通所介護サービス

事業所名	ビラおおだデイ	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1 日平均利用人数	45.7 名	30.0 名	11.0 名	36.6 名

訪問サービス

事業所名	福寿園ヘルパーステーション	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	介護 540 件 予防 24 名 障がい 16 件	介護 156 件

施設サービス

2. ケアハウスビラおおだ(ケアハウス)

人材育成 確保	リーダー及び中堅職員を中心に OJT を通じキャリアパスに応じた段階的なスキルの習得、指導により、入居者への対応及び職員の役割を理解し、職員自身が成長を実感出来るよう知識、技術を身に付ける。また、全職員が自ら考え、進んで業務に取り組む。 定期的な面談、ミーティングを通じてコミュニケーションを活発化し、相談しやすい雰囲気を整え、職員同士が支え合うことでチームの一体感を高める。
事業展開 サービス提供 地域貢献	入居者が選び、決め、参加する主体的な日々の暮らしを送ることが出来るよう環境を整え、生活の満足度向上に向け、暮らしを支えるサポートとして必要な支援、安全面の配慮を行う。また、入居者が多様化する中、自由な生活の継続と入居者個々に合わせた楽しみのある生活を支援できるよう多職種で話し合いながら取り組む。 突然発生する災害に対して、日頃から地域住民、隣接する福寿園と連携を図り、合同訓練や会議、非常食づくり等を実践し、防災活動の強化をする。
経営 施設管理	建物の長寿命化の為、日頃より建物全体、設備、備品の定期点検を行い、小さな劣化も早期に対応し、入居者が安心安全に過ごせるよう建物の維持管理を行う。また、物価高騰による支出が増加する中、法人内で資源の共有を行い、効率的に活用をする。 ケアハウスの収入維持の為、実費サービス等を見直し、適正な施設運営が出来るようにする。
その他	各種委員会の開催、研修、訓練の充実を図り、感染症予防対策を強化し、安心安全な施設運営を行う。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議 (福寿園合同) 野外散策(花見) ガーデンランチ	10	秋の行楽遠足 秋の屋外食
5	日中火災避難消火訓練(ビラおおだ デイ合同) 野外散策 春の屋外食	11	鬼岩交流(相愛保育園との交流) 川合町文化祭への参加 50周年記念法人合同文化祭 感染症予防教室 野外散策(銀杏、紅葉見学)
6	防犯訓練 食中毒・疾病予防勉強会 川合町ふれあいの会(福寿園合同)	12	焼き芋パーティー 忘年会 蕎麦打ち 餅つき(福寿園合同)

7	七夕会（福寿園合同） 入居者懇談会	1	新年挨拶会 初詣（物部神社） 新春ゲーム大会（福寿園合同） 1.17 震災の日、炊き出し訓練（福寿園合同） 50周年記念事業所交流石見銀山かるた大会
8	納涼祭（福寿園合同）	2	節分祭参拝（物部神社）
9	夜間火災避難訓練 川合町敬老会 9.1 防災の日、炊き出し訓練（福寿園合同） 土砂災害避難訓練 ケアハウスピラおおだ敬老会	3	大田市福祉展への作品出展、見学 お茶会交流会（相愛保育園との交流）
その他	誕生食（月1回）、喫茶（月1回）、全国横断すごろく旅（月1回） 炭火焼きの日（適宜）、希望献立の日（適宜）、買い物外出支援（月1回）、クラブ活動（月1回）、法話会（月1回）、福寿園との合同交流会（適宜）、ふれあい食堂出前弁当（月1回）、民生児童委員との連絡会議（年1回）、川合町配食弁当（月1回）、川合町高齢者通いの場（週1回）、出岡サロン（月1回）		

3. 福寿園（養護老人ホーム）

人材育成 確保	法人を担う人材を育成する為に、法人の理念と施設の方向性を正しく理解し、リーダー職員が中堅職員へ適切、的確な指示を行い自ら考えて主体的に行動できる人材を育てる。併せてリーダー職員が役割と責任感を自覚し職員間をまとめるマネジメント力を身に着ける。 職員同士が互いを理解し合えるコミュニケーション環境を整え個々の能力や得意分野を引出し業務や役割分担に反映させ、やりがいと達成感を実感できる職場をつくと共に、職員間の協力体制の強化を目標に掲げ業務を進める。また日頃からの環境整備 5S 活動（整理、整頓、清掃、清潔、躰け）の取組と各職種の業務負担等を明確に洗い出し、職員会議、主任会議を通じて課題を解決し、働きやすい職場をつくる。
事業展開 サービス提供 地域貢献	入園者一人ひとりの状態に合った質の高い支援が行える事を目的として、園内研修を定期的実施し職員の専門的知識、介護技術の向上を目指すと共に養護老人ホームの役割である入園者の自立支援や社会復帰に向け昨年度より取組んでいる体験型外出支援の拡大と個別活動等を更に充実させ入園者の達成感、喜びを感じられる取組みを行う。 また居室内の環境整備を通し生活状況、身体状況の把握を行い職員間での情報共有を徹底し、快適な園生活を支援し、併せて地域との交流事業に継続して積極的に参加し、地域との繋がりを大切にしていく。 事故防止対策委員会を中心に気づき、ヒヤリハット振返りや手技確認を繰返し行い、事故のない安心安全な施設を目指す。
経営 施設管理	年間を通して定員維持と島根県や大田市からの加算や補助金等の情報収集及び活用を行い安定的な経営を目指す。

	職員会議で収支状況を理解し経営意識を向上させる。また併設する訪問介護と密に連携をとり柔軟かつ効果的なサービス提供を行い予算達成に繋げ、調理においては一括調理及び適切な保存管理を行い業務の効率化を図ると共に食品ロスや無駄な廃棄を減らす。また地域食材を取入れた行事食等の工夫をすることで食事の満足度を維持しつつ経費抑制を図る。
その他	感染症予防の勉強会及び訓練を実施し園全体の感染予防対策の意識向上と対応力を高める。また日頃から嘱託医との連携を密に行い感染予防対策を図る。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区防災会合同防災連絡会議（ケアハウス合同） お花見お茶会 非常食づくり（島根県西部地震の日） 外出支援（お弁当）	10	夜間火災避難消火訓練 川合祭り献立 外出支援 ハロウィンパーティ（川合保育園交流会） 焼き芋パーティ
5	日中火災避難訓練 家族交流会 外出支援（お弁当）	11	50 周年記念法人合同文化祭 外出支援
6	川合町ふれあいの会（ケアハウス合同） 外出支援	12	鍋の日 クリスマス会・お茶会 そば作り 外出支援 もちつき（ケアハウス合同）
7	七夕会 外出支援 防犯訓練	1	外出支援（初詣） お正月献立 新春ゲーム大会（ケアハウス合同） 新春コンサート 50 周年記念事業所交流石見銀山かるた大会
8	オペラコンサート 納涼祭（ケアハウス合同） 外出支援	2	節分会 外出支援
9	川合町敬老会 長寿を祝う会 9/1 防災の日、炊き出し訓練（ケアハウス合同） 土砂災害避難訓練 外出支援	3	ひな祭り会 福祉展出演・見学 外出支援
その他	ケアハウス交流会（適宜） 日本列島味めぐり（適宜） FUKUFUKU キッチン（毎月） 相愛保育園交流（随時）入園者栄養教室（適宜）		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 293 日（日曜日、祝日及び1月1日～1月3日まで休園）

サービス提供時間 7：00～19：30

人材育成 確保	係長、主任保育士や中堅職員を中心に PDCA サイクルを継続し、保育の質の向上、業務の安定を図ると共に職員同士のコミュニケーションを積極的に行い、モチベーションアップや保育を含む業務内容についての情報共有、連携を促進する。また安全衛生委員会を設置し、全職員が安心して働ける職場づくりを進める。
事業展開 サービス提供 地域貢献	『大田市が大好きな子』を育てる保育を継続し、三瓶山、石見銀山への親子遠足や散策活動を行う。また日々の保育で地域の自然や人と関わり、石見銀山かるたや大田大好き絵本の活用など大田市の文化に触れる体験を通じて地元の良さが感じられる保育を行う。 食育では、子どもたちが季節の野菜の栽培、収穫、調理体験をし、更に豚汁ンジャーを使った食育指導を行い、食に対する興味や関心を育てる。併せて郷土料理や特産品を実際に食べてみるなど、食を通して地域の歴史や文化への興味関心を育てる。 すまいるくらぶや園開放等を通して在宅で子育てする家庭の支援を積極的に行い、地域の子育て世帯のニーズを把握すると共に、相愛保育園の特色や魅力を発信し、入所や一時保育の利用に繋げる。
経営 施設管理	入所人数年間平均 111 名を確保する。また運営状況等を職員に周知し、経営意識を高め、併せて定期的に園舎、設備の点検を行い、修繕等早めに対応し、経費の抑制及び長寿命化を図る。
その他	保護者ニーズへの対応や接遇について職員間で統一する。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	入園・進級式・保護者総会 なかよし集会	10	親子運動会 園外保育 ケアハウス交流 園児健康診断 箱寿司づくり（食育ボランティアとの交流）ハロウィンパレード（地域交流）
5	親子遠足 交通安全教室	11	鬼岩交流（ケアハウス交流） 50 周年記念法人合同文化祭 蒲鉾工場見学 四園交流（年長児） 保護者研修会
6	保護者研修会 おおだデイ交流会 園児歯科検診	12	もちつき会（祖父母参観） クリスマス会
7	七夕・プール開き 夏まつり	1	50 周年記念事業所交流石見銀山かるた 大会 親子茶会（年長児）
8	プール納め オペラコンサート 小学生との交流（年長児）	2	節分会 お楽しみ会 雪遊び なかよし茶会 継続児健康診断

9	ビラあさやま交流会（年中児） ビラたかやま交流会（年中児）	3	ひな祭り会 パン作り ひな祭り茶会（ケアハウス） 新入園児説明会 なかよし遠足 お別れ会 卒園式
その他	誕生会（毎月） 身体測定（毎月） 避難訓練（毎月） 元気モリモリの日（体操教室：年長児・年中児） お茶のお稽古（年長児） 習字（年長児・年中児） ハッピーランチの日（6～9月を除く） 一日保育士体験・個人懇談（各クラス） 防犯訓練（年4回） お弁当ごっこ クッキング 離乳食教室 環境整備（春・夏・秋） みんなでワイワイ季節のごつつお（春・夏・秋・冬） すまいるくらぶ（地域交流・地域貢献） 神楽公演 福寿園交流（適宜） かまどご飯の日（適宜）		

通所介護サービス

5. ビラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成 確保	サービスの質を支える人材の育成と定着重要課題と位置づけ、中堅職員の役割明確化やリーダー育成を進める。 研修やOJTを行うと共に、職員間交流や福利厚生の充実により働きやすい職場環境づくりを行うと共に、職員の定着を目指す。
事業展開 サービス提供 地域貢献	利用者一人ひとりの「やってみたいこと」を大切に、多職種連携による個別ニーズの把握と支援を行い、日常生活動作を意識した機能訓練や認知症予防プログラム、セルフケア支援などを通じて生活機能の維持、向上を図る。また、評価、改善を継続しながら、満足度の高い通所介護サービスの提供を目指す。 施設見学の受け入れや、地域行事への参加を通じて、地域に開かれた事業所づくりを進めると共に地域交流や通いの場での活動を通して、地域ニーズの把握と介護予防への貢献を行う。 事故の未然防止と再発防止を重要課題とし、ヒヤリハットやなぜなぜ分析を活用したリスク管理の強化、併せて職員間で情報共有やミーティングを通じて危険意識を高め、転倒、事故リスクの低減を図る。
経営 施設管理	職員一人ひとりが経営視点を持てるよう、稼働率や実収入の指標を月次で共有し、経営状況の報告および改善策を検討し、対策を進める。 計画的な修繕、設備更新を行い、利用者と職員が安全で快適に過ごせる環境を整備する。また、ICTの活用や消耗品の見直しにより経費抑制と業務効率化を図る。 加算取得や補助金活用を積極的に検討し、安定した事業運営と経営基盤の強化を目指す。

その他	災害、感染症対策を含めた事業継続計画の見直しを行い、安心安全な事業運営を行う。
-----	---

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	花見 外出支援	10	避難訓練、土砂災害訓練 家族交流会
5	日中火災訓練消火訓練（ケアハウス合同） パン教室 外出支援	11	50周年記念法人合同文化祭 川合町文化祭出展 外出支援（文化祭）
6	食中毒予防教室 セルフケアマッサージ教室 相愛保育園交流会 家族交流会	12	忘年会 クリスマス会 脱水予防教室
7	夏祭り（川合保育園交流会） 脱水予防教室	1	50周年記念事業所交流石見銀山かるた大会 新年会 初詣
8	家族交流会 セルフケアマッサージ教室	2	節分会 パン教室
9	敬老会 川合保育園交流会 敬老週間外出支援	3	保育園卒園祝い訪問 福祉展出展、福祉展外出
その他	屋外訓練、ボランティアグループの招待、クッキング（月1～2回） 誕生日会（随時）		

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成 確保	次世代を担うリーダー職員の育成を重点とし、事業所の長所と課題を捉え、課題解決に向け、リーダーが中心となり取組む。また、スキルアップに向け自発的に外部研修や情報収集の場へ参加する。 業務の中では常に効率化を意識することで人的要因、環境要因を整理し、最大限 ICT 化を活用して、時代に即した未来の介護に繋げる。
事業展開 サービス提供 地域貢献	広々としたリハビリルームを最大限に活用し、経験豊富なリハビリ専門職が中心となり、利用者個々の満足度に繋がるプログラムを実施する。また、地域の行事や介護予防事業への参加、地域住民や各関係機関の方に来て頂ける行事を計画する。 事故防止対策委員会を中心に「接遇」について意識を持ち、満足度を高めていく。

経営 施設管理	研修会や勉強会へ参加し、経営の意識を高め、継続して「選ばれる事業所」を目指す。施設の老朽化や物価高騰の課題に対応出来るよう、安定した利用者確保に向け、魅力の発信を続ける。 また経年により、建物・備品の修繕リスクも高くなる中、日々の点検や管理を行い、職員一人ひとりがコストの意識を持ち、経費削減を行う。
その他	感染症予防対策や自然災害等の事業継続計画の見直しを行い、安心安全なサービスの提供を行う。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練 交通安全教室 認知機能検査（MMSE）	10	屋外訓練（紅葉） 屋外食 あけぼのこども園交流会 運動会 火災避難消火訓練
5	屋外訓練（花見） 火災避難消火訓練 野外食 体力測定	11	文化祭出展・参加（朝山、富山） 屋外訓練 体力測定 50 周年記念法人合同文化祭
6	屋外訓練 日常生活動作訓練 陶芸教室	12	クリスマス会 そば道場 忘年会 門松作り 感染予防教室 伝習館しめ縄作り 餅つき
7	七夕 食中毒予防・熱中症予防教室 家族介護教室	1	50 周年記念事業所交流石見銀山かるた大会 初詣 新年会
8	地域・家族交流会 夏祭り	2	節分 食育教室 あけぼのこども園交流会
9	敬老会 屋外訓練 食育教室 相愛保育園交流 土砂災害避難訓練	3	ひなまつり会 屋外訓練
その他	選択メニューの日 喫茶 クッキング 奉仕活動 サロン訪問 認知症カフェ参加		

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

人材育成 確保	次世代を担うリーダー職員の育成を重点とし、事業所の長所と課題を捉え、課題解決に向け、リーダーが中心となり取組む。また、スキルアップに向け自発的に外部研修や情報収集の場へ参加する。 業務の中では常に効率化を意識することで人的要因、環境要因を整理し、最大限 ICT 化を活用して、時代に即した未来の介護に繋げる。
事業展開 サービス提供 地域貢献	大田市で数少ない認知症対応型通所介護事業所として地域の方と一緒にあって認知症の方を支える事が出来るように認知症サポーター養成講座を開催する。また、関係機関等と連携を図り、認知症ケアの専門性、対応力を高める。さらに認知症の方を支える場への参加も継続し、

	理解を深め住み慣れた自宅や地域で生活が継続出来るように支援する。 事故防止対策委員会を中心に「接遇」について意識を持ち、満足度を高める。
経営 施設管理	研修会や勉強会へ参加し、経営の意識を高め、継続して「選ばれる事業所」を目指す。施設の老朽化や物価高騰の課題に対応出来るよう、安定した利用者確保に向け、魅力の発信を続ける。 また経年により、建物・備品の修繕リスクも高くなる中、日々の点検や管理を行い、職員一人ひとりがコストの意識を持ち、経費削減を行う。
その他	感染症予防対策や自然災害等の事業継続計画の見直しを行い、安心安全なサービスの提供を行う。

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311 日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成 確保	リーダー職員を中心に、事業所の課題や役割の明確化、OJT を通じた育成、業務改善に向けた取組みを行うと共に、職員間交流の促進や働きやすい環境整備を行う。
事業展開 サービス提供 地域貢献	地域ニーズや制度動向を踏まえ、情報収集と検討を行う。サービス展開ではリハビリを重視し、自宅でのリハビリメニューの提供など利用者の自立支援や生活機能の維持・向上に繋げ、専門性の高い支援やサービス内容の充実を図る。屋外訓練や地域の方、ボランティアによる余興など楽しみのある活動、個々の要望を取り入れた活動、認知症予防の視点を取り入れた活動を実施する。食事においては季節感、満足感のある食事を提供し、併せて夕食弁当持ち帰りサービスを継続し、食の支援を行う。また地域貢献活動を継続的に実施し、地域との連携を深め、信頼される事業所づくりを進める。 感染症予防対策、事故防止対策を強化し、リスク管理を徹底することで、安定した事業運営を行う。
経営 施設管理	施設の老朽化による修繕個所の増加を踏まえ、経営的視点をもって施設の現状把握と計画的な修繕を行い、利用者の安全確保及び持続可能な事業運営を行う。また目標利用者数、収入の達成に向け、稼働率の向上や業務効率化、経費抑制にも取組み経営の安定化を図る。
その他	定期的に事業継続計画の見直しを行い、安心安全な事業運営を行う。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練	10	感染予防教室 屋外訓練 大森保育園交流会

5	運動会 屋外訓練 ビラたかやま通信発刊	11	祖式町、大森町文化祭出品 見学 50 周年記念法人合同文化祭 屋外訓練 火災避難消火訓練
6	火災避難消火訓練 熱中症・食中毒予防教室 屋外訓練	12	忘年会 餅つき クリスマス会 屋外訓練
7	七夕 体力測定 屋外訓練	1	新年会 体力測定 屋外訓練 ビラたかやま通信発刊 50 周年記念事業所交流石見銀山か るた大会
8	屋外訓練 夏祭り 家族交流会	2	節分 屋外訓練
9	敬老月間 屋外訓練 ピクニック 土砂災害避難訓練 相愛保育園交流会	3	ひな祭り 屋外訓練 大森ひなまつり展出品・見学
その他	プチカフェ、パンの日、あつあつメニューの日、niconico サロン（毎月）		

訪問サービス

8. 福寿園ヘルパーステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

人材育成 確保	職員一人ひとりが安心して働き、働きがいを持って長く活躍できる職場環境の整備を重要な課題と捉え、日々の業務内容や人員配置、業務量、コミュニケーションの現状を把握し、課題を明確にして取り組む。 定期的な職員との面談や意見交換を通じ、改善が必要な業務を明確にしてマニュアル整備し、情報の共有を強化して働きやすい職場環境づくりを進める。また職員が自身の役割や成長が喜びに感じられるよう目標管理の評価、助言や業務のフィードバックの取組みを行い、職員の満足度を高めて定着率を向上させ、安定した事業運営を目指す。訪問介護の魅力「その人の暮らしを支えるしごと」をテーマに掲げ継続的にホームページ等で発信し新たな職員確保に取り組む。
事業展開 サービス提供 地域貢献	認知症ケアや基本的な医療、精神疾患の基礎知識に加えコミュニケーション能力、問題解決能力を向上させ質の高いサービスを提供する。また定期的に介護技術研修を実施し身体介護を中心とした専門性の高い訪問介護を提供し利用者一人ひとりの状態や生活環境に応じた質の高い支援を行う。 特に多様化、重度化する在宅介護ニーズに対応できる体制づくりを重視し、身体介護に強みを持ち、どのようなケースでも安心して任せられる事業所として地域から信頼される事業所を目指す。 職員間で訪問前後の声かけ確認と気づきの徹底を図り事故を未然に防ぎ安心安全なサービスに取り組む。

経営 施設管理	重度者や困難ケース等への対応力という事業所の強みを前面に打ち出し、居宅介護支援事業所との密な情報交換、連携を図ることで新規利用者確保に取り組む。またケアハウス、福寿園入園者を中心とした訪問調整を展開し、施設職員と継続的な連携を密に取り、柔軟かつ効果的なサービスを提供し、予算目標を達成する。 老朽化が進む公用車の整備を継続的に行い、車両管理を行う。
その他	安心してサービスが受けられるよう利用者、家族の声をしっかり聴き、職員一人ひとりが気持ちの良い挨拶を心がけ事業所全体の接遇力を高める。 感染症対策強化のため予防着の着脱訓練を定期的実施し、職員の感染予防意識と技術向上に取り組む。

9. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

人材育成 確保	キャリアパスに基づいた目標設定と自己研鑽及び介護支援専門員の多様な研修へ参加し、専門知識や対人援助技術を深め、個々のスキルアップを図る。また、職員間のコミュニケーションを図り、お互いの業務の進捗状況を把握し、定期的な会議での情報共有、業務マニュアルや指針等の整備、主任介護支援専門員等による指導・相談によりフォロー体制を維持し、働きやすい環境づくりを進める。
事業展開 サービス提供 地域貢献	特定事業所加算算定事業所として、医療ニーズの高い方、生活困窮等の支援困難ケースを受け入れができる体制を維持する。これまで培ってきた経験や人脈を活かし、事業所の特長について地域包括支援センター等の関係機関へ積極的に情報提供し、多職種連携を強化する。 地域住民等へ向けて、認知症サポーター養成講座等を開催し、法人や事業所の特長をPRする機会をつくる。
経営 施設管理	ICTの活用やペーパーレス化の促進など経費抑制や業務の効率化を図ると共に特定事業所集中減算に留意しながら積極的に新規を獲得し、目標件数達成を目指す。また、初回加算や入退院時情報連携加算等を確実に算定する。
その他	感染症の流行状況について情報収集を行い、職員の体調管理に努めながら状況に応じて業務を遂行する。